

Ⅱ 令和7年度当初予算の主な施策

※令和6年度2月補正予算で計上した事業も一部含めて記載しています。

1 危機管理体制の構築と安全の確保

(1) 災害から県民を守る「防災県」の確立

- 被災者が一刻も早く支援を受けられるようにするため、住家被害認定調査や
り災証明書発行を迅速化する**被災者支援システム**を市町村と共同で導入します。
- 視覚障害者向けの音声対応ハザードマップや防災啓発サイト「じぶん防災」の
多言語によるリーフレット版の作成など、**防災情報のバリアフリー化**を進めます。
- 県内外の大規模災害発生時に、被災した学校の学びの継続や早期再開に向けた
支援を行う「**災害時学校支援チーム（D-EST（ディーエスト））**」を派遣するための
体制整備を行います。
- 市町村における**自助・共助の取組強化**や**災害対応のデジタル化**、**孤立集落対策**
を推進するため、引き続き市町村の取組に対して助成します。
- **避難所の生活環境を改善**するため**トイレカー等を配備**するとともに、平時より
防災訓練や地域イベントで活用することにより、防災意識の醸成を図ります。

〈主な事業〉

・被災者支援システム運用事業【新規】	81,000千円（24頁）
・防災情報バリアフリー化事業【新規】	9,500千円（24頁）
・災害時学校支援チーム（D-EST）体制整備事業【新規】	1,260千円（25頁）
・千葉県地域防災力充実・強化補助金	250,000千円（25頁）
・千葉県孤立集落対策緊急支援補助金	250,000千円（26頁）
・地域防災緊急整備事業【新規】（6年度2月補正）	120,000千円（26頁）

(2) 防災基盤の整備

- 激甚化する災害から県民の生命・財産を守るため、河道拡幅などの**河川改良**や、
護岸改修などの**海岸保全施設の整備**、**土砂災害対策**や**農地防災対策**を引き続き
実施します。
- **一宮川流域浸水対策**については上流域で第三調節池の新設を進めるほか、令和
5年9月の大雨による被災を踏まえた鶴枝川の堤防嵩上げなどに取り組みます。
※ 河川・海岸・砂防事業、農地防災事業、一宮川流域浸水対策特別緊急事業などについては、
継続事業や工程上、年度当初から必要な事業費のみを計上しており、今後の補正予算で対応
することを予定しています。

〈主な事業〉

- ・河川・海岸・砂防事業（6年度2月補正・7年度当初あわせ） 29,822,169千円（30頁）
（債務負担行為 6,067,000千円）
- ・農地防災事業 3,099,448千円（33頁）
（債務負担行為 2,290,000千円）
- ・一宮川流域浸水対策特別緊急事業（6年度2月補正・7年度当初あわせ） 4,351,641千円（31頁）
（債務負担行為 1,750,000千円）

（3）くらしの安全・安心の確保

- 犯罪の起こりにくい環境づくりを一層進めるため、**市町村や自治会等の防犯カメラ設置に対する助成**について、**大幅に予算を増額**して設置を促進します。また、**市町村が行う防犯パトロール車や防犯資機材の整備**に対して、新たに支援を行います。
 - 後を絶たない**電話 d e 詐欺**への防止対策に加え、被害が拡大している**SNS型投資詐欺等**の対策として、**SNS広告を活用した広報啓発**を行います。
 - **飲酒運転の根絶**に向け、新たに**大学と連携した啓発事業**を行うなど、あらゆる機会を活用した広報啓発に取り組みます。
 - **自転車のヘルメット着用率向上**を図るため、**購入費の一部を助成**するとともに、**インフルエンサーを活用した広報や街頭啓発活動**を実施するなど、**集中的なキャンペーン**を展開します。
 - 交通事故の発生を防止するため、**歩道整備や交差点改良、信号機・標識の整備等**を行います。また、引き続き、**通学路の安全対策**に重点的に取り組みます。
- ※ 交通安全施設整備事業については、継続事業や工程上、年度当初から必要な事業費のみを計上しており、今後の補正予算で対応することを予定しています。

〈主な事業〉

- ・市町村防犯カメラ等設置事業補助（6年度2月補正・7年度当初あわせ） 186,000千円（38頁）
- ・地域防犯力向上支援事業【新規】（6年度2月補正） 108,000千円（38頁）
- ・電話 d e 詐欺等対策事業【一部新規】 172,467千円（39頁）
- ・飲酒運転根絶対策事業【一部新規】 34,025千円（41頁）
- ・自転車安全利用の促進【一部新規】 99,800千円（41頁）
- ・交通安全施設整備事業（6年度2月補正・7年度当初あわせ） 6,004,535千円（42頁）
（債務負担行為 670,000千円）

2 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

(1) 経済の活性化

- 将来を見据えた新たな産業拠点の形成を図るため、**本県経済を牽引していくことが期待される地域**について、**新たな投資を呼び込める環境づくり**に向けた取組を推進します。
- 人と産業の集積による**成田空港周辺地域**の活性化を目指し、**産業拠点の形成に関する事業手法の検討や魅力的なまちづくりに関する施策**について検討を行うとともに、「成田新産業特別促進区域基本計画」において、集積を目指す産業として新たに5つの産業を追加したことを踏まえ、このうち特に空港との親和性が高い「**航空宇宙関連産業**」の集積に向けて、新たに調査・研究を行います。
- **立地企業補助金**について、**本県経済を牽引していくことが期待される地域**において、今後、**成長が見込まれる産業分野**に該当する研究所や工場が立地する場合には**補助額の上乗せを行うなどの見直し**を行い、将来を見据えた産業の誘致を図ります。
- **京葉臨海コンビナート**について、日本をリードするカーボンニュートラルコンビナートへの転換を促進するため、引き続き、立地企業等で設置した協議会を運営するとともに、**水素・アンモニア等を供給する拠点整備に向けた検討**などを進めます。
- 積極的な賃上げや投資等を行う意欲の高い**中小企業**が、地域の景気や雇用を支える企業へ成長できるよう、DXによる省力化・業務効率化や、新技術の導入による**生産性向上等の実現に必要な設備投資**に対して助成します。
- **中小企業振興資金**について、中小企業の経営基盤の安定に必要な事業資金を円滑に提供するため、**必要額を計上**します。
- 中小企業が抱える様々な課題に対応するため、引き続き窓口・訪問相談や専門家の派遣を実施するとともに、新分野への参入や業態転換等に挑戦する**中小企業への伴走支援**を行います。
- 小規模事業者等への伴走支援を強化するため、身近な支援機関である**商工会・商工会議所等の体制充実**を図ります。
- 障害者と企業を対象に、**就労意欲の醸成や障害者雇用の理解促進、企業と障害者のマッチング、就労後の職場定着**まできめ細かな支援を行うことで、障害者就労の促進を図ります。
- 県内の観光・宿泊業を発展させるため、**宿泊税の導入**に向けた準備を進めるとともに、引き続き、**人材確保に向けた取組や観光コンテンツの開発、外国人の誘客を含めた観光プロモーション**などを実施します。

<主な事業>

・新たな産業・地域づくりに関する推進事業	50,000千円 (43頁)
・成田空港を活かした持続可能な地域づくり検討事業	120,500千円 (43頁)
・立地企業補助金【一部新規】	1,033,000千円 (46頁)
・カーボンニュートラルコンビナート事業	50,000千円 (43頁)
・中小企業成長促進補助金 (6年度2月補正)	1,700,000千円 (49頁)
・中小企業振興資金	300,000,000千円 (55頁)
・チャレンジ企業支援センター事業	474,387千円 (55頁)
・小規模事業経営支援事業費等補助金	3,019,442千円 (58頁)
・障害者就労の促進	163,801千円 (61頁)
・観光コンテンツ高付加価値化促進事業	100,000千円 (63頁)
	(債務負担行為 50,000千円)
・観光・宿泊業人材確保事業	21,700千円 (65頁)
・千葉県観光物産振興事業	517,332千円 (68頁)

(2) 農林水産業の振興

- 「稼げる農業」の実現に向け、規模拡大等を目指す農業者に対してソフト・ハード両面から支援します。令和7年度は、新たに**高温対策のための機械・装置の導入**に対して緊急的に助成するほか、**水稻の高温対策に係る技術の検証**や近年の猛暑条件における**露地野菜の安定生産技術の確立に向けた基礎研究**を進めます。
- 米価の安定を図るため、**飼料用米等の新規需要米への転作**を引き続き推進します。また、経営の大規模化による生産性向上や担い手不足への対応を図るため、**農地中間管理機構の体制を強化し、農地の売買等支援事業を開始**します。
- 肥料・飼料の安定確保や環境にやさしい農業への転換を進めるため、耕種農家の生産した飼料を畜産農家が利用し、得られた家畜ふん堆肥を農地へ還元するなど、**耕種農家と畜産農家が連携した取組を促進**します。
- **漁業の担い手確保**のため、**就業希望者に対して伴走型支援を行うワンストップ窓口を新設**します。
- **県産農林水産物の魅力を一層発信**するため、高付加価値商品を取り扱う企業と生産者のマッチングや、ECサイト上に本県の特集ページを設けるなど**新たな販路開拓を支援**するほか、**県が新たに開発したノリ**について、名称等を公募するなど**ブランド化に向けた取組を進め**ます。

<主な事業>

・稼げる農業の推進【一部新規】	1,692,300千円（69頁）
・農作物の高温対策に係る実証事業【新規】	5,000千円（73頁）
・飼料用米等拡大支援事業	400,000千円（74頁）
・農地集積加速化促進事業【一部新規】	844,420千円（79頁）
・耕畜連携体制の推進【一部新規】	92,500千円（76頁）
・漁業の担い手確保・育成総合対策事業【一部新規】	173,638千円（92頁）
・「おいしい！千葉の農林水産物」プロモーション事業【一部新規】	140,152千円（93頁）

(3) 社会資本の充実とまちづくり

- 県民生活の利便性向上を図り、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える**道路ネットワークの整備**を進めます。

令和7年度は北千葉道路や銚子連絡道路、長生グリーンライン等の整備を引き続き推進するとともに、令和6年度の緊急点検結果を踏まえ、**道路の法面对策**を実施します。

※ 道路ネットワーク事業については、継続事業や工程上、年度当初から必要な事業費のみを計上しており、今後の補正予算で対応することを予定しています。

- 令和6年10月に脱線事故が発生した **いすみ鉄道の早期復旧**を図るため、**鉄道施設の維持・修繕等に係る補助を増額**します。
- **地域公共交通の維持・確保**に向けて、地域の実情に応じたバス路線の再編や交通モードの転換などに取り組む**市町村や公共交通事業者等を支援**します。
- **水道管路の耐震化**を促進するため、耐震管の整備について、令和11年度までの5年間、**国の補助に県独自の上乗せ**を行います。
- 「県有建物長寿命化計画」に基づき、庁舎・県立学校・警察施設等の**県有建物**について、**建替えや大規模改修、計画保全等**に取り組みます。

<主な事業>

- ・道路ネットワーク事業（6年度2月補正・7年度当初あわせ） 56,937,169千円（96頁）
（債務負担行為 16,131,000千円）
- ・いすみ鉄道基盤維持費補助（6年度2月補正） 100,000千円（102頁）
- ・地域公共交通「リ・デザイン」推進事業【新規】（6年度2月補正） 150,000千円（104頁）
- ・水道管路耐震化促進事業補助金【新規】 173,000千円（105頁）
- ・県有建物長寿命化対策事業 48,694,470千円（106頁）
（債務負担行為 63,755,000千円）

3 未来を支える医療・福祉の充実

(1) 医療提供体制の充実と健康づくりの推進

- 県内の深刻な小児科医不足の現状を踏まえ、医師修学資金における小児科医希望者への加算枠の創設や、県外から小児科医を確保するための給与の上乗せに対して支援を行うなど、小児科医の養成・確保について総合的な対策を実施します。
- 地域医療を支える看護師を確保するため、修学資金において貸付額を高く設定している特別枠の対象に、君津医療圏を追加します。
- 保健所の業務改善のため、指定難病医療費と小児慢性特定疾病医療費の助成に関する事務を集約して処理する事務処理センターを設置します。
- 厳しい経営状況にある病院事業会計について、令和6・7年度において資金不足が見込まれるため、一般会計から長期貸付を行うことにより支援します。

<主な事業>

- ・小児診療対応医師確保総合対策事業【新規】 16,700千円 (110頁)
- ・保健師等修学資金貸付事業 410,046千円 (111頁)
- ・保健所の業務改善に向けた事務処理センター設置・運営事業【新規】
300,000千円 (115頁)
- ・病院事業会計への長期貸付金 (6年度2月補正・7年度当初あわせ) 5,900,000千円 (116頁)

(2) 高齢者福祉と障害者福祉の充実

- 介護事業所における業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入に対して助成を行うとともに、先進的な取組の横展開を図るため、モデル事業所の養成を行います。また、介護支援専門員（ケアマネジャー）を継続的に確保するため、資格更新の際に必要な研修受講料を助成します。
- 重度の強度行動障害のある方の地域での受入先拡大を図るため、関係事業所との調整を行う相談支援事業所等へのアドバイザーの派遣や、受入後の施設に対して伴走支援サポーターによる支援等を行います。
- 私立幼稚園における医療的ケア児の受入体制を整備するため、看護職員や介護福祉士等の配置に対して助成します。
- 社会問題化しているアルコールや薬物、ギャンブル等依存症について、面談による専門相談を拡充するなど、相談支援体制を強化します。

〈主な事業〉

- ・ 介護事業所における業務改善支援事業【一部新規】（6年度2月補正・7年度当初あわせ）
1,294,000千円（119頁）
- ・ 介護支援専門員研修受講料補助【新規】
13,000千円（121頁）
- ・ 暮らしの場づくりサポート事業【新規】
7,100千円（125頁）
- ・ 私立幼稚園医療的ケア看護職員配置事業【新規】
22,000千円（128頁）
- ・ 依存症対策地域支援事業
8,000千円（129頁）

4 子どもの可能性を広げる千葉の確立

(1) 子育て施策の充実

- 令和8年度から本格実施される「こども誰でも通園制度」に係る施設整備を促進するため、国の補助に県独自の上乗せを行います。
- 慢性的な疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成と自立促進のため、新たに自立支援員を配置した相談窓口を設置します。
- 児童虐待防止対策を進めるため、引き続き児童相談所職員の増員やスキルアップ、ICTを活用した業務改善など、児童相談所の機能強化を図ります。

<主な事業>

- ・ 保育環境整備促進事業【新規】 19,000千円 (131頁)
 - ・ 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業【一部新規】 12,959千円 (135頁)
 - ・ 児童相談所の機能強化【一部新規】 5,741,707千円 (138頁)
- (債務負担行為 8,057,000千円)

(2) 教育施策の充実

- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、引き続き私立学校の経常的経費に助成します。
 - ※ 私立学校経常費補助（一般補助）については、6月交付に必要な額を計上し、その後の交付分は、今後の補正予算において対応する予定です。
- 理数教育や技能教科の指導の充実を図るため、小学校に配置している県独自の専科教員等を増員するほか、ICTを効果的に活用した授業を展開するため、県立高校に配置している専門人材を増員するとともに県立学校におけるネットワーク環境を高速化します。
- いじめ・不登校の防止、早期発見、解決のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員し、相談体制の強化を図ります。また、不登校児童生徒のオンライン授業の対象を、中学校に加え、小学校4～6年生に拡大します。
- 教職員が業務に専念できる環境を構築し長時間勤務を改善するため、スクール・サポート・スタッフ等を新たに県立高校にも配置するほか、県立学校等に対する外線電話にワンストップで応答する統一ダイヤルを設置するとともに専門家と連携が必要な事案に専属で対応する職員を配置します。
- 児童・生徒の学習環境を改善するとともに災害時の避難所機能を強化するため、避難所に指定されている県立学校の体育館に順次空調を整備します。

〈主な事業〉

・私立学校経常費補助（一般補助）	10,643,385千円（141頁）
・小学校専科非常勤講師等配置事業	532,000千円（152頁）
・学校DX推進パートナー配置事業	49,000千円（154頁）
・学習用ネットワークの整備【新規】	93,040千円（154頁）
	（債務負担行為 838,000千円）
・学校におけるいじめ対策・不登校児童生徒支援の推進	1,440,705千円（158頁）
・不登校児童生徒の教育機会確保事業	5,670千円（159頁）
・教員の多忙化対策の推進	1,722,000千円（147頁）
・学校問題解決サポート事業【新規】	60,000千円（148頁）
・県立学校体育館空調設備整備事業【新規】（6年度2月補正、7年度当初あわせ）	40,400千円（150頁）

5 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現

- **多様性が尊重される社会の実現**に向けて、シンポジウムやセミナーの開催などにより**普及啓発**を行うとともに、多様な人材の雇用・就労において、積極的・先進的な取組を行っている**県内企業・団体等を表彰**します。
- **外国人労働者の帯同家族**のうち、配偶者など日本語教育を受ける機会が得られにくいと考えられる方を対象に、**入門レベルの日本語教育や生活オリエンテーション**を実施します。また、**外国語による110番通報**に迅速に対応するため、**多言語コールセンター**を設置します。
- **LGBTQ当事者**の抱える不安や悩みへの**相談窓口の対応時間を拡充**するとともに、新たに**SNS**により相談を受け付けます。

〈主な事業〉

・多様性の尊重に関する普及啓発事業【一部新規】	15,000千円（160頁）
・地域日本語教育等の推進【一部新規】	37,200千円（164頁）
・多言語コールセンター導入事業【新規】	2,000千円（166頁）
・LGBTQに関する相談事業	10,400千円（166頁）

6 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

(1) 千葉の魅力の向上と活用

- 二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、移住関連情報を一元的に発信するポータルサイトについて、移住者へのインタビュー記事を掲載するなど内容を充実させます。
- 千葉県の多様な発酵文化・産業を活かし、大阪・関西万博に「発酵」をテーマとした出展を行うなど、本県の魅力を県内外に広く発信します。

<主な事業>

- ・移住・定住促進事業 44,377千円 (170頁)
- ・発酵を活用した千葉の魅力発信事業【一部新規】 136,103千円 (171頁)

(2) 環境の保全と豊かな自然の活用

- 脱炭素化の取組を促進するため、家庭における住宅用省エネ設備や電気自動車の導入、中小事業者等が行う省エネ診断や設備更新等を引き続き支援します。
- 都市緑化活動に対する意識の高揚を図るため、第36回「みどりの愛護」のつどいを開催します。
- 残土等の不適正な埋立て等を防止するため、令和7年度からは県内全域で衛星画像を活用した解析を行い、速やかな是正措置につなげます。
- P F O S及びP F O Aによる地下水汚染の拡大を防止するため、市町村が実施する調査等に対し、引き続き支援を行います。

<主な事業>

- ・家庭向け脱炭素化促進事業 636,000千円 (174頁)
- ・事業者向け脱炭素化促進事業 1,140,000千円 (52頁)
- ・全国「みどりの愛護」のつどい開催事業 51,417千円 (177頁)
- ・スペースパトロール(残土・再生土対策)事業 117,500千円 (180頁)
(債務負担行為 115,000千円)
- ・P F O S及びP F O Aに係る地下水汚染防止対策事業 29,200千円 (181頁)

(3) 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

- 千葉県誕生150周年記念事業のレガシーを未来に引き継いでいくため、県と市町村が連携した芸術祭を3年に1度開催することとし、令和8年度の開催に向けて準備を進めます。
- 千葉県文化会館のリニューアルオープンを機に、文化芸術振興への機運を盛り上げるため、千葉交響楽団や県内の芸術団体などによる県民参加型のコンサートを実施します。
- パラアスリート・チームへの支援について、デフアスリートを新たに支援対象とします。また、パラスポーツの普及を図るため、コーディネーターの派遣により、市町村におけるパラスポーツ相談窓口設置に向けた支援を行います。

<主な事業>

- | | |
|----------------------|---------------------------------------|
| ・芸術祭開催事業【新規】 | 103,000千円（182頁）
（債務負担行為 100,000千円） |
| ・千葉県文化会館リニューアルオープン事業 | 20,000千円（186頁） |
| ・パラアスリート強化・支援事業 | 40,550千円（163頁） |
| ・パラスポーツ振興事業【一部新規】 | 85,000千円（164頁） |

7 くらしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用

- 保護者の利便性向上や教職員の負担軽減を図るため、教材費や修学旅行費等の学校徴収金に係る事務のシステム化、奨学のための給付金や特別支援学校高等部の入試手続きなど、各種手続きのオンライン・キャッシュレス化の拡大を進めます。
- 効率的なインフラ管理を進めるため、現場確認業務に使用するドローン配備の強化や、道路・河川等の各施設台帳の電子化を行います。また、公共工事等に係る業務の抜本的な効率化を図るため、業務の一元的な管理や入札業務を支援するシステムの構築を行います。
- 県税事務所において、オンラインで税に関する相談ができるリモート窓口を試験的に導入し、県民の利便性向上を進めます。

〈主な事業〉

- ・ 県立学校会計クラウドの導入【新規】 債務負担行為 98,000千円 (190頁)
- ・ 奨学のための給付金における電子申請の導入【新規】 35,643千円 (190頁)
(債務負担行為 47,000千円)
- ・ 県立学校の入試手続のオンライン・キャッシュレス化 83,200千円 (190頁)
- ・ インフラ分野のDXの推進【一部新規】 416,817千円 (194頁)
- ・ 公共工事等業務管理システムの構築【新規】 29,100千円 (195頁)
- ・ 総合評価審査業務支援システムの構築【新規】 債務負担行為 70,000千円 (195頁)
- ・ 県税事務所リモート窓口実証事業【新規】 2,000千円 (195頁)

